

令和6年度 第2回萩市立図書館協議会 議事録

令和7年2月28日（金）

14:00～15:00

会場 萩市立萩図書館

出席者

協議会委員 大島昌子委員・杉山芳文委員・中村由美委員

（8名）村田麻美委員・的村るみ委員・杉山恵子委員

有田真美子委員・大久保裕元委員

教 育 長 池田教育長

事 務 局 教育委員会事務局 植村局長

萩図書館 武安館長・森岡係長・五嶋主任主事

須佐図書館 豊田館長・村木主任

田万川中学校図書館 宮内館長

学校教育課 池田指導主事

NPO萩みんなの図書館 大草副理事長

伊藤事務局長

1. 開会のことば（豊田館長）

ただ今から、令和6年度第2回 萩市立図書館協議会を開催する。
よろしくお願いします。

2. 教育長あいさつ

本日は、第2回図書館協議会に出席を賜り感謝する。平素から萩市図書館の運営にご支援、ご協力をいただき心から感謝を申し上げる。

さて、萩市の図書館の運営については、コロナの影響も落ち着いてきて、ほぼ従来通りの運用を実施している。また、各図書館ではそれぞれ特色のある活動を実施しており、萩市ひとづくり推進計画に基づき、さらなる読書活動の推進に取り組んでいる。今年度は、利用しやすい図書館の環境整備として、須佐図書館の事務室を除く部分の空調設備改修工事が終了したところである。今後も、各図書館が過ごしやすい居場所となるように、読書環境の充実に向けた取り組みを実施していく。また、子供の読書活動の充実を図るために学校との連携を強化しているが、各学校に図書館司書が出向いていく「出前講座」を実施している。この出前講座では、読み聞かせや学校図書館のリニューアルなどのプログラムを実施しており、学校における読書活動を支援するとともに、児童生徒に配布されているタブレット端末を活用した電子図書館の利用方法の講座を実施することにより、電子図書の利用促進を図り、多様化する様々な媒体による読書活動の推進に努めている。

さらに、視覚障害者等読書困難者に向けたサービスの充実としては、総合支援学校との連携やサピエ図書館、あるいは音声パソコンや朗読CD等の活用を図るとともに、関連のパンフレット

の設置を眼科に依頼するなど、その周知を図っている。

なお、昨年来からの懸案である須佐図書館の運営については、後ほど詳しい報告があるが、令和7年8月から試行的に開館時間の変更を行い、令和9年からの本格実施に向けた検討を行うこととしている。

終わりになるが、委員の任期により、このメンバーでの協議会は、今回が最後となる。委員の皆様には本当に心より感謝申し上げます。

本日は、市民サービスの向上のためにご忌憚のないご意見を賜りたい。よろしくお願いします。

3. 会長あいさつ

5期10年で一区切りということで、そのため、3名が今期で終了となる。皆様、長い間お世話になり感謝する。最後の協議会だが、よろしくお願いします。

図書館を通じて、また萩に帰ってきたいという子どもたちを育てたい。大人が安心して子どもたちに図書館を利用させておくことができれば。そう思いながら利用をしている。私事だが、子どもが1月から萩に帰ってきた。外で建設関係の修行をしていたが、今は勉強のため図書館をよく利用している。土曜日は朝の9時から夜の9時まで、図書館で建築士の勉強している。夜9時まで開館しているので、私も仕事が終わってからよく利用し、たまに息子が勉強している姿を確認することがある。

先週土曜日に昼間の図書館の様子を確認しに来た際、カフェぶらりトマトたっぷりカレーを注文して美味しくいただいた。私もよく夜に図書館に通い、ソファのところで本を読んでいるが、ある時、かなり年配の女性が私の手に小さいチョコレートをぽっと置いて、どうぞと言ってニコッと立ち去るということがあった。食べるのは気が引けるのでお守りのチョコレートとしてたが、なんだかほっこりした経験をした。図書館は、よい交流の場になってと思う。

ここに頻繁に来て、最新の本を手軽に読み、借りて帰ることもある。この度の芥川賞、直木賞の作品など、結構借りられていると思う。皆さんもそういう機会を逃さず使っていただきたい。特集なども色々組んで、頑張っておられると思う。

今日はよろしくお願いします。

森岡係長 規定により、議長は会長があたることになっている。会長に議長をお願いする。

4. 報告

議長 報告(1)「令和6年度の事業報告及び令和7年度の展望について」、萩図書館から順に説明をお願いする。なお、ご意見、ご質問については、報告1、2の最後にお聞きするので、ご了承いただきたい。

武安館長 萩図書館の事業報告・展望について説明

村木主任 須佐図書館の事業報告・展望について説明

森岡係長(代読) 明木図書館の事業報告・展望について説明

宮内館長 田万川中学校図書館の事業報告・展望について説明

議長 これまで色々な図書館を巡って会議した。それぞれの館からの報告の際に、それを思い出しながら聞いていた。続いて、報告(2)「須佐図書館の運営方針について」須佐

図書館豊田館長から報告をお願いする。

豊田館長 アンケート結果について説明（資料 1 参照）

職員の駐在する希望時間帯について回答が多かったのは、現在の開館時間、9 時半から 18 時まで、91 人、38.6%。2 番目に、9 時から 17 時 30 分まで、44 人、18.6%。8 時半から 17 時 15 分まで、25 人、10.6%と、現在よりも早い時間帯を希望される方がいることがわかる。一方、閉館時間については、19 時頃が 71 人、30.1%、20 時頃が 16.1%になっている。以上の結果から、現在より早い開館と現在より遅い閉館を組み合わせ、曜日によって異なる開館時間帯の設定を検討した。

これからの須佐図書館の運用について説明（資料 2 参照）

開館時間変更の試行運用について、現在の開館は 9 時半から 18 時だが、利用者の方が図書館前で開館を待たれることが少なからずあることから、現在よりも早い時間帯の開館が望ましいのではないかと、また、萩図書館図書館の開館が 9 時からでもあり、開館時間を統一することで市内の他館利用者からも分かりやすいのではないかとことから、開館を 9 時としている。

閉館時間については、開館を 9 時とすると、現在の会計年度任用職員を含めた職員数での運営を前提とした場合、やむを得ず閉館が 17 時 30 分となり、現在の 18 時より 30 分早い時間となる。しかし、18 時以降の夜間利用を希望する回答もあり、夜間利用に対する利便性を確保することから、週に 1 度ではあるが、金曜日の開館時間帯を 11 時半から 20 時とする。この金曜日においては、20 時まで職員が駐在し、本の相談や予約を行える状況を確保すること、併せて、翌日が土曜日であり、家族揃っての図書館利用を期待するところもあり、図書館の利用拡大に繋がればと考えている。

この開館時間帯については、アンケート結果を基に、図書館の活用の拡大に繋がる方策の 1 つとして、利用しやすく分かりやすいことが前提であると考え、令和 7 年 8 月から 1 年間の試行運用を行う。今後 6 カ月間の周知期間を設け、ホームページや防災行政無線などによる周知、広報を行う。資料 2 については、今回、広報 3 月号の配布に合わせて須佐地域内の世帯へ配布する。資料 1 のアンケート結果を須佐図書館ホームページへ現在掲載している。

それから、今後の予定としては、試行運用期間 1 年間の後、令和 8 年 9 月に新たな運営方針を決定し、その後、周知期間を設け、令和 9 年 4 月から新方針に基づいた本格運用を予定している。以上で須佐図書館の運営方針についての説明を終わる。

議 長 各館からの報告及び須佐図書館からの報告があった。後ほど、委員の皆さんからの発言
いただこうと思っているが、その前に何か質問があればどうぞ。無いようなので報告を終わる。

5. 議事

議 長 次第の 5、議事に入る。議事の(1)「学校との連携について」今年度の実績や今後の取り組みなど、教育委員会及び各課からの説明をお願いする。

池田指導主事 学校に対し読書活動に関してのアンケートを取った際に、なかなか図書館のリニューアルが進まないというところを課題に挙げられた学校が多かった。先ほどの説明にもあったが、図書館の方に訪問していただき、助言を受けたことで、今まで購入のところで止まっていたものが廃棄まで進み、きちんと学校図書館のリニューアルが進ん

だ学校が随分多くなった。このような良い活動を、他の学校にも図書館との連携というところで周知をしていくことが必要だと思う。来年度に向けて、学校から挙げられた中で最も多かったのが、子どもたちに学年にあった本に興味を持たせたい、また、本を読む子、読まない子の2極化が進んでいるなどといった課題。図書館の出前講座等をしっかり利用し、また、学校で予定されている学校行事や学習内容と関連させて図書館と連携し、その行事に合わせた内容での読書活動の推進についても、学校の方に促していきたいと考えている。

伊藤理事 萩図書館の学校との連携については、出前講座を充実させている。読み聞かせ、学校リニューアル、電子図書館の使い方、アニメーションなど幅広く依頼があり、今年度は2月末で42件の依頼があった。

幼稚園や保育園に関しては、昨年度より「絵本の世界へようこそ」というメニューに取り組んでいる。職員が園にて読み聞かせを行い、その絵本を基に園児たちが制作した作品を図書館に展示するというもの。現在、階段を上がったところに萩幼稚園の作品を展示している。

学校図書館のリニューアルについては、主に除籍本の選定と棚の整理を行っている。一時的なものになりがち。学校との連携をより深め、支援できればと思う。

また、図書館見学について、本年度は小学校、児童クラブ、高校まで幅広く申込があった。職場体験は、今年度初めて総合支援学校より約2週間、2年生1名を受け入れ、中学校5校、萩商工、山口大学など計9校30人の申し込みがあった。

また、小学生向けに夏休みイベントとして、本の返却などの仕事体験の企画を行った。

これからも連携を組みながら新しい企画を行っていききたい。

村木主任 須佐図書館では「新1年生から新1年生へ」という須佐中学校の1年生が、小学1年生に本を紹介するという企画や、男性が読み聞かせをする「お父さんとおじいちゃんの読み聞かせ」を行い、池田教育長にも多摩小学校で読み聞かせをしていただいた。

コミュニティスクールとの連携も行っている。学校運営協議会委員とともに、今年度は読書の大切さと地域の方に学校運営協議会のPRも兼ねて、年3回親子読書を発行した。(資料4) 学期ごとに1枚ずつ、各部会、3つある部会の紹介を兼ねたもの。各学校の家庭に配る以外にも、須佐地域の回覧板にも挟んでいる。今夜、学校運営協議会がある。この協議会で出たご意見を共有したい。

電子図書の促進活動については、須佐・田万川中学校図書館と共に活動を行っている。昨年利用が無かった須佐中学校にPRし、萩図書館の出前講座で電子図書館の使い方を学び、利用を促進した。須佐・田万川・萩の図書館との連携の成果だと思い、来年は小川小学校にも働きかけたい。育英小学校に読み聞かせやブックトークに行っているが、地域の方も、学校で読み聞かせをしたいとの声もある。来年度は、地域の方と学校とを結びつけられるような活動も行っていきたい。

宮内館長 田万川中学校がビブリオバトルを行う際に、中学校図書館の職員も協力している。小川小学校の先生のおすすめ本の紹介、須佐図書館と共に、男女共同参画に絡み「お父さんとおじいちゃんの読み聞かせ」を行っている。電子図書利用の推進についても行っている。

来年度の取り組みとしては、多摩小学校では電子図書利用があるが、小川小学校、田万川中学校については、利用が少ない。利用促進を努めていきたい。親子読書という須佐の学校運営協議会委員等の紹介が本当素晴らしい。これを見習い、まずは職員等のおすすめ本コーナーを図書館の一角に作り、生徒や地域の皆さんに紹介するなど、新刊の

紹介コーナーのほかに、新たに作りたいと計画している。

森岡係長（代読）

明木図書館は、学校図書館を兼ねた公立図書館。行事・展示などの多くは学校の児童・生徒に向けたもの。学校の授業での利用や調べ学習など、身近に利用できる。中学校の選書会も行った。中学生に本を選んでもらい、その中から本を購入するというもの。

木曜チャレンジという行事を行っているが、木曜日は佐々並小学校と明木小学校との合同授業が開催されているため、佐々並小学校の児童も昼休みに参加している。

議 長 学校との連携について説明してもらった。ご意見があれば、議事（2）の「これからの図書館運営に対するご意見について」も併せて一人ずつご意見をいただきたい。

委 員 私が協議会委員になった時に、立派な先生方がおられ、図書館協議会委員ってどんなことするんだろうと思い、教えられながらやってきた。自分にとっていい会だったなと思う。皆さんも図書館のことを考えると同時に、自分にとっていい会にしていきたい。

私が最初に参加していた頃の記憶をたどると、利用者と図書館という風に分かれてるような感じで、図書館は、利用者にどうしてあげたらいいか、どういうことをしたらいいかを考え、協議会委員は利用者の方がこういうことをして欲しいという希望や、どんなことを思っているのかということ伝える代表だと思い、代弁するつもりで意見を言ってきた。今日の発表を聞いてて、利用者と図書館が分かれていない形になってきていることをすごく感じた。司書の方たちも一生懸命に中に溶け込んでいって、地域の方と一緒に参加してやっているとすごく感じた。そういう努力をされてこられたし、そういう時代になってきているんだということも感じた。人口も減り寂れていくのではなく、少なくなってきたからみんなで取り組んでいこう、良いものにしていこうというように感じた。私が初の図書館協議会に参加したころより、本の展示が少し変わってきたのも、図書館と人が対立ではなく、溶け込んできたなということを感じるものの1つ。

萩図書館の場合は、催し物もたくさんあり、いろんな人がそれに参加してるので、地域の年齢層に合わせたり職業等に合わせたりした図書館の行事というのも、本の提供以外にもやってほしいと思う。須佐・田万川・明木の地域ではどういう風なことが催されてるのかをもう少し知りたかったと思う。人口や世の中の発展や環境の変化など、時代に沿って、図書館も一生懸命変化していているなということを感じている。最後に、任期の間に、毎年じゃなかったとしても、萩以外の図書館にも行ってみたいことがとても参考になり、実際に見てきたことで気持ちが動き、意見が出てくる。そういった意見が出てくると図書館の運営も少し動くのかなという気もするので、ぜひ、毎年でなかったとしても、各地域を回ることに以外に、市外の図書館にも見学に行けるように組み込まれていけたらいいと思う。

委 員 なかなか参加が難しく10年間務めさせていただいたが、あまり役に立ててなかったというのが私の中では反省。この会で皆さんにお会いできたことは本当に自分の役に立っていると思う。どこの図書館も、萩だけじゃなく、須佐も、田万川も明木も皆さんよく行事をされているな、すごく努力をされてるなと思う。特に萩は本当に行事が多くて、私もチラシを見ては行きたいと思うが、自分が土曜日、日曜日は結構忙しく、なかなか参加できない。では、夜にしてはとかも思うが、それも普通の人にとってはどうかと思うので、1つの意見として。

先ほどの報告で、お父さんの読み聞かせというのを最近よくされてるようだが、すごくいいことだなと思う。立派なお父さん、おじいちゃんだけではなくて、なかなか出てこない人、出てきたくない、テレビの前でゴロゴロしてるようなお父さんを引っ張っ

てきて読んでもらおうと、またそのお父さんのためにもなるし、子どもたちのためにもなると思うので、こういうことをリレーのようにどんどん繋げていっていただけるともっと開かれていくのではないかと思います。

人口もどんどん少なくなっていくが、少ないからこそ人が見えるし、人が覚えられるし、知り合いになれるし、良い図書館、良い地域ができていくのではと思う。

大変お世話になり感謝する。

委員 萩図書館の1番好きな定位置は、中央公園が見える外に向かった場所。皆さんにもあの位置の良さをわかっていただけたらと思う。今後、ぜひ、ビブリオバトルの場面に出くわしてみたいと思う。漫画や書籍などいろいろなものを自分たちで薦め合って、その中から1番をどうやって決めるんだろうと疑問に思う。大体自分の好きなジャンルは決まっているから、それを受け入れて相手の薦めるものが読んでみたいって思えるようなトークってどんなトークなんだろうとも思う。

この図書館で私が1番最初に行くのが新刊と準新刊。昔は新聞や雑誌のおすすめ欄で本を選んでしたが、新刊と準新刊を見て、自分では絶対選ばないような本を手にとることが多くなった。感謝する。

委員 どの図書館もすごく色々なことをされていて、本当に頭が下がる。田万川は高齢者の方が多く、なかなか図書館に行くのも無理なことがあるかなと思う。そこで、電子書籍を見てお年寄りの方にもと考えたが、その前にスマホの使い方が先だと思った。良い案だと思ったが。いろいろな所に行く際に、図書館でやっていることをちょっと私もPRしたいなと今思っている。これからもよろしくお願いします。

委員 私は保健推進協議会という立場でここに参加させていただいていて、私たちが、各地域で集まりいろいろな活動してる中で、必ず絵本の読み聞かせをしている。その時に、保健推進協議会は、図書館で貸出カードの団体登録をさせていただいているので、本をお借りでき、大型絵本等をお借りすることができ、とても助かっている。

今、その親子の愛着関係っていうのがすごく言われていて、絵本も愛着を結ぶのに良いコンテンツになりますよというのを、必ずこういった場でお話をしているが、ぜひ、図書館の方でも、こういう本は親子で一緒に遊べますよとか、こういう本は親子の繋がりを持つのにいいですよというおすすめもぜひお話の会の時にでもしていただけると、今ちょっと本が高くてなかなか買うのも難しいっていう方も多いと思うので、読書の推進に繋がっていくんじゃないかなと思うので、ぜひ推薦図書をどんどん子ども図書館の方にも出していただくようお願いしたいと思う。

委員 社会福祉協議会の立場で参加している。今回配布された資料の中でやはり興味深かったのは、このアンケート。これは須佐図書館アンケートということだが、この結果の中で興味深い点は、問5の読書量が減っているというところが世相を示しているのかなというところと、問7の減ってる理由が、スマホ、テレビ等で足りているとは本当に率直な理由なんだろうなという風に思う。正直、利用する頻度が低くて恐縮だが、萩図書館は一目見て、他の地域の図書館と比較しても、設備にしても何にしても、十分、活動されておられるのかなという風に思う。一方で、やっぱりこのようなアンケート結果で、図書館は利用する世代が広いが故に、先ほどの電子書籍の件を前回の協議会でも私も申したが、じゃあタブレットでというわけにもいく方といかない方がやっぱりいるのかなという風に思う。そこが非常に難しいところで、多分最適な答えというのではないのかもしれないが、この読書量が減らないようにする策というの、今の学校との連携にあるのでは。今は歌でも、スマホで事が足りるというところもあるので、難しい。

先ほど会長のご息が図書館でよく勉強しておられるというのを聞いて、私も昔、学生時代に、ここの旧図書館で勉強した口ですが、やはりそういったきっかけを一つ、まず、図書館を利用するということに繋がるのかなと思っている。このアンケートを、例えば、もう少し他のエリアでもどういった結果が現れるのか、取ることができるならば見てみたいと感じた。

委員 最近の須佐図書館についてお話ししたいと思う。最近私は目がちょっと良くなって、厚い本を読むのが苦手になった。それで radiko（ラジコ）で、全国のラジオをよく聞く。朝は、文化放送の「鎌田實×村上信夫 日曜はがんばらない」という番組。そこで鎌田先生が薦めていた「存在のすべてを」という本を絶賛されていた。がんばって3回借りた。2、3ページ読んで、眠たくなる。ダメだと思い、オーディブルの30日間無料体験をちょっとしてみた。運転しながら、車で聞ける。「存在のすべてを」聞いた。最後の章がよかった。育ての親と子どもとのやり取りがよい。オーディブルにも図書館にもあるので読んでみて欲しい。よく山口の図書館に行く。山口市立図書館でスタンプラリーのスタンプを押してもらった。全部コンプリートした。山口市立図書館で映画があり、「どうすればよかったか？」というドキュメンタリー映画を観た。統合失調症を患った姉のことを記録した衝撃的な作品。今度、益田で上映されるらしい。

話が逸れたが、須佐図書館を、毎週1回ぐらい利用している。紹介された親子読書。知り合いの人が書いていて、思わず読みたくなるようなコメントでとても良い。図書館に行くと、学生さんのおすすめの本をイラスト付きで展示しており、職員の方が薦めていただいたのがすごく良かった。やはり読んだ人がコメント付きで絵を描いて薦めているのはとてもよい。また今年もして欲しい。駐在所のお巡りさん、すごく優しいお巡りさんで、コラボ企画、とてもよかった。勉強になった。

今年から金曜日11時半から8時の開館を試行されるとのこと。夜8時まで開けるとするのは心配。夏でも暗いし、変な人はいないとは思いますが防犯上のことで心配なので、帰る時は必ずスタッフ2人で閉めて帰られる方がよいと思う。

来年度もよろしくお願いします。

6. その他

議長 その他について、事務局から何かあれば。

武安館長 先ほど教育長からのあいさつにもあったが、この図書館協議会委員の任期が3月末までとなる。今回、3名の方が5期を迎えられ、今期でご退任という形になる。長い間、本当に図書館協議会の会議に参加していただき、いろいろなご意見をいただきましたことを重ねてお礼申し上げる。今後については、須佐・田万川・旭の各地域から推薦していただき、萩地域からも推薦し、次期委員10名を任命する事務を進めている。また次回は、来年度5月を目処に、この協議会を開催する予定にしている。次は、新しい委員及び引き続きお受けいただける委員での会となる。よろしくお願いします。

議長 それでは全ての議事が終了したので進行を事務局にお返しする。

森岡係長 会長、会の進行を感謝する。最後に閉会のことばを田万川中学校図書館長 宮内が申し上げます。

宮内館長 本日は、長時間にわたる協議に感謝する。繰り返しになるが、この３月末をもって委員を退任される皆様方につきましては、ご協力、誠に感謝する。今後は、引き続き図書館をご利用、また愛していただければと思う。また、留任される皆様につきましては、次年度につきましても引き続きよろしくお願いする。

それでは、以上を持ちまして、令和６年度第２回萩市立図書館協議会を閉会する。